

2026年度 第2回 子育て茶話会を開催しました

7月4日(土) 保護者4名、運営委員2名、卒業生保護者3名、教員3名、SCI名(計13名)が出席しました。

思春期の親子関係などをテーマに様々な視点から経験を出し合いました。

次回は【最終回】11月14日(土)14:00~16:00を予定しています。

保護者の皆さま、ぜひお気軽にご参加ください。

参加者の感想を一部ご紹介します(抜粋)



- * 初めて参加させていただきましたが、大小さまざまな悩みを共有できてとても勉強になりました。最初は少し緊張しましたが、時間が経つのがあっという間で、またぜひ参加したいと思いました!(保護者)
- * 現在子どもの反抗期に悩んでおり相談したのですが、同じ経験を持つ先輩保護者の方々からたくさんの温かいアドバイスや解決策をいただき、本当に嬉しかったです。(保護者)
- * いつも貴重な機会を作っていただきありがとうございます。中学生以上になった子どもとの向き合い方に関して、本音で悩みを打ち明けられる貴重な場になっており、心が軽くなります。これからも悩み続けますが、貴重な情報を得る機会にもなります。引き続き継続開催いただけましたらと思います。(保護者)
- * 在校生だった時から、子育て茶話会は私にとって心のオアシスでした。今回は図々しくも悩んでいる在校生の方に、経験者は語るというか、アドバイスのようなスタンスになってしまいましたが、少しでも参考になればよいなと思いました。子育て茶話会に参加すると心が軽くなるんです。自分もそうでしたが、他の親御さんの悩み事をきくと自分だけじゃない!みんなも色々あるのだと思えます。そこが、子育て茶話会に参加して得られるメリットだと思います。(卒業生保護者)
- * 我が子が卒業しているにもかかわらず、参加させて頂いております。茶話会では悩みを解決できるわけではありませんが、共感したり話したりすることで、楽になります。茶話会の場以外では、話を口外しないルールのもとやっていますので、安心して話せます。子ども3人育てていますが、このような場を提供してくれる学校ってなかなかないです。法政中高でよかった!(卒業生保護者)
- * 茶話会に参加して思うのは、在校生、卒業生の保護者を問わず、どの親も一生懸命だということです。皆、それぞれ悩みがあって、誰かの支えを必要としているのではないのでしょうか。茶話会はいつもそっと寄り添ってくれる、そんな会だと思います。これからも長く続くことを願います。(卒業生保護者)
- * 久しぶりに参加させていただきました。息子はすでに大学を卒業しておりますが、皆さんのお話を伺っていると、子育ての悩みは、その時期ごとに共通するものがあるのだと感じました。私自身も以前、子育て茶話会で先輩保護者の方から、ご経験に基づいた温かいアドバイスをいただき、気持ちが楽になったことを思い出しました。皆さんも、一度子育て茶話会でお話してみませんか。きっと気持ちが軽くなるきっかけが見つかると思います。(卒業生保護者運営委員)
- * 今回も初めてご参加いただく方が来てくださいました。お小遣いのことや遊びのことなど、子育てに関するさまざまなご相談があり、卒業生の保護者の皆さんからは、経験をもとにした温かいアドバイス。お話を聞きながら、入学した頃を思い出し、懐かしい気持ちになりました。子育てでは頭を抱えることもあります。一人で悩まず、ほっとひと息つける時間を過ごしてみませんか。ぜひお気軽にお立ち寄りください。お待ちしております。(卒業生保護者運営委員)

- * 思春期（反抗期）の子育てにどの家庭も大変な思いで向き合っていることを改めて感じました。それは親としての責任感があるからこそその苦勞なのだと感じます。「『親として』言わなければいけないのか？親の中に葛藤がある」「『子どものため』と言っていたが、子ども本人がそれを本当に望んでいるのか」「親として『ねばならない』を持っていたが、それは親の見栄だったのかも」「親自身が変わらないといけない」など、我が子と真剣に向き合っているからこそそのメッセージが心に響きました。（教員）
- * 「忍耐です」「親子は別人格だから、感情を出してもいいんじゃないですか」など、待つ辛さに寄り添う意見が出されました。参加者の方々は性差を超えて弱さを出し合い、ケアについて相談し合っていて素晴らしいです。時代の変化を感じます。（教員）